

創造的復興と宮城県圏域への交流人口の増大へ 2019年3大パークゴルフ場が誕生!

東松島市 4月 登米市 6月 大崎市 今秋一部供用開始



矢本海浜緑地パークゴルフ場の完成予想図。安全面に配慮したシーサイドの美しいコースとなっている



東松島市 市長 渥美 巖

まず先頭を切って4月26日、東松島市の「矢本海浜緑地パークゴルフ場」がオープンする。このコースは、震災の津波により甚大な被害をうけ、現在復興が進む「県立矢本海浜緑地」内に、新設の児童遊戯施設広場等と併設して宮城県が設置し、東松島市がクラブハウス建設とパークゴルフ場の運営管理を行う。本プロジェクトを実現に導いた渥美巖東松島市長は「創造的復興の象徴となるこのコースは、パークゴルフによる圏域への交流人口の増大や、強い地域愛（シビックプライド）を持つ市民の健康増進及びコミュニケーションに寄与する。ま

た奥松島オールの連携も期待している。ぜひ国内外の皆様にご来場いただき「抱負を語った」と抱負を語った。造成は宮城県東部土木事務所、小山内大祐班長を中心としたプロジェクトにより、



プロジェクトに携わる。正面右から、榎木村土建、宮城県東部土木事務所、東松島市パークゴルフ協会の方々



白砂のバンカーが美しい登米市高森パークゴルフ場。自然地形を利用した、優雅で戦略性の高いコースは、既に国内外から注目を集めている



平地のコースでは味わえないアップダウンによる戦略的なホールも数多くあり、コース造形美、戦略性、周辺景観及び既存のコースから更に

から、安全面に配慮した幅広いフェアウェイと大型グリーンにより、爽やかにフルショットが楽しめるコースになるようだ。コースを造成する地元の榎木村土建の野明彦所長は「地元で育てられ、この仕事により復興のお手伝いができることを誇りに思う」と話し、東松島市パークゴルフ協会の鹿山忠男会長は「コース設置は長年の願いだった。このコースから更に強い絆が生まれる」と話してくれた。同地区は夏涼しく、冬は雪が少ない地域で、通年営業が予定されている。



造成が急ピッチで進められている大崎市三本木パークゴルフ場。どこの地域からもアクセスは抜群だ。

大崎市三本木では、同市三本木総合支所の横の県有地に、54ホールの「大崎市三本木パークゴルフ場」の造成が進められている。同コースは東北自動車道の三本木スマートICから車で数分の場所にあるのでアクセスは抜群だ。大崎市では田尻地区に全国大会も開催されている54ホールが加護坊パークゴルフ場がある。

（中村圭吾社長）が企画設計監修を担当し、本年6月には両コースを舞台とした国際交流大会の企画も進められているという。コースはメンテナンス日を除いては通年営業を予定しており、通年営業可能な北限のコースになるのではないだろうか。冬季でも県内はむしろ、雪の降る地域からの来場が見込まれ、愛好者には嬉しいコースの誕生となる。

東松島市 54H 矢本海浜緑地パークゴルフ場

予定。このコース

県と東松島市、榎木村土建、東松島市パークゴルフ協会、市民が一体となって開発が進んだ。震災の教訓を踏まえ「安全確保」に配慮した避難建築山や緊急時避難と展望施設を兼ねたクラブハウスが設置され、地域の物産等の販売も予定されている。

登米市 54H 登米市高森パークゴルフ場

平地のコースでは

味わえないアップダウンによる戦略的なホールも数多くあり、コース造形美、戦略性、周辺景観及び既存のコースから更に

今年、大規模コースが続々とオープンする宮城県内3市の新コースに、県内外の愛好者の期待と注目が集まっている。当該コースを所管する宮城県パークゴルフ協会連合会の米木正二会長（公益社団法人日本パークゴルフ協会副会長）は「既存コースはもとより、新規コースのオープンにより、初心者講習や更なる愛好者のすそ野拡大、及びパークゴルフの普及に全力で取り組みたい」と抱負を語った。この情報局では、新設されるコース概要を最新情報としてお伝えする。

パーク情報局

知っトク、早目情報満載

ぜひ宮城県にお越し下さい

パークゴルフは、老若男女が共に楽しめるスポーツとして、「人生100年時代」を生きる私達の健康増進や世代間交流の促進にも効果が期待されております。私の地元、宮城県でも、今年には三本木、東松島及び登米と、特徴のある大型パークゴルフ場が誕生する予定であり、楽しみにしている次第です。これからも、多くの皆様楽しんで頂きますよう、パークゴルフの普及・発展を応援していきたいと思っております。

衆議院議員 伊藤 信太郎
自民党パークゴルフ普及振興議員連盟

た奥松島オールの連携も期待している。ぜひ国内外の皆様にご来場いただき「抱負を語った」と抱負を語った。造成は宮城県東部土木事務所、小山内大祐班長を中心としたプロジェクトにより、

誇りに思う」と話し、東松島市パークゴルフ協会の鹿山忠男会長は「コース設置は長年の願いだった。このコースから更に強い絆が生まれる」と話してくれた。同地区は夏涼しく、冬は雪が少ない地域で、通年営業が予定されている。

存樹林の美しさは、既に国内のみならず、海外からも注目を集めている。もちろん初心者でも気軽に楽しめるコースもあり、家族連れから上級者まで、安心してプレーできるコースとなっている。施設面では、チャタワールド石越の管理棟をクラブハウスとして兼用し、飲食施設の拡張も行い、充実している。尚、東松島市、登米市の両コースともパークゴルフジャパン（中村圭吾社長）が企画設計監修を担当し、本年6月には両コースを舞台とした国際交流大会の企画も進められているという。コースはメンテナンス日を除いては通年営業を予定しており、通年営業可能な北限のコースになるのではないだろうか。冬季でも県内はむしろ、雪の降る地域からの来場が見込まれ、愛好者には嬉しいコースの誕生となる。